|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No.（　　　　　　）令和５年度　Innovate MUSEUM事業成果報告書 | | | | |
| 事業名称 |  | | | |
| 実行委員会 |  | | | |
| 中 核 館 |  | | | |
| 住所 | 〒 | | |
| TEL |  | FAX |  |
| ホームページ |  | | |
| 構成団体 |  | | | |
| 事業開始時点  の課題分析 | 事業実施の動機となった課題について，中核館の使命や中核館と地域を取り巻く状況等を踏まえつつ，ポイントを明確にして簡潔に記入すること。 | | | |
| 事業目的 | 上記の課題を解決するため，目標とした地域と共働した創造活動の方向性について，ポイントを明確にして簡潔に記入すること。 | | | |
| 事業概要 | 上記の目的を達成するための手段とした実施事業の概要について，ポイントを明確にして簡潔に記載すること。 | | | |
| 実施項目  　　・  実施体系 | （例）  １．国際交流・発信のための各種行事の開催  実施した項目について，体系立てて記入すること。  （１）国際交流のための関連行事の開催  　①□□□シンポジウム  　②△△ワークショップ  　③××講演会  （２）…… | | | |
| 実施後の  成果・効果等 | 事業の実施による成果・効果を，できるだけ具体的な（定量的ないし，定性的であっても抽象的ではない）効果の測定方法・評価方法で検証した結果を記載すること。 | | | |

|  |
| --- |
| 【事業実績】  ＜令和４年度事業実績記載要領＞   1. 事業実績部分は、**２ページ**で作成ください。 2. 事業実施風景等の**写真の掲載は必ず記載ください。** 3. 要点や重要な部分に下線を引いたり、見出しの書式を変えたりして、**読み手が内容を理解しやすくなるようにしてください**。 4. **参加者の反応や具体的な感想は必ず記載ください。** 5. **写真やグラフ、報道された記事の引用、参加者の声の紹介など事業実施の具体像とその効果が分かりやすく伝わるような構成にしてください**。 6. **本事業で作成したHPや関連サイト等がありましたらURLも記載ください。**   （留意事項）  ※また、文化庁のホームページで公表する予定があることから、写真等については著作権や肖像権等に配慮し、事前に掲載許可が得られたものを掲載ください。  ※提出頂いた事業実績は文化庁及び事務局にて内容を確認し、条件に満たない場合は再提出頂く可能性がございます。 |
| ＜具体的な記載例＞  以下については、前身事業の地域と共働した博物館創造活動支援事業の成果報告書になります。  下記URLを参考に、同程度の記載ぶりをよろしくお願い致します。  ・和紙を未来へ繋ぐ事業（中核館：安部榮四郎記念館）  <https://www.bunka.go.jp/chiikitokyodo/jirei/2021/pdf/48.pdf>  ・“ボーダレス・エリア近江八幡”をみんなで作るプロジェクト（中核館：ボーダレス・アートミュージアムＮＯ-ＭＡ）  <https://www.bunka.go.jp/chiikitokyodo/jirei/2021/pdf/33.pdf>  ・練馬発！みんなのミュージアム事業（中核館：ちひろ美術館）  <https://www.bunka.go.jp/chiikitokyodo/jirei/2021/pdf/17.pdf>  ・新宿から発信する「国際演劇都市TOKYO」プロジェクト（中核館：早稲田大学坪内博士記念演劇博物館）  <https://www.bunka.go.jp/chiikitokyodo/jirei/2021/pdf/16.pdf> |